

徳川林政史研究所蔵 尾張徳川家文書目録(六)

凡 例

一 本目録は、徳川林政史研究所が所蔵する「尾張徳川家文書」について収録したものである。「尾張徳川家文書」は、現在、「尾二」～「尾八」の文書群で構成されており、そのうち「尾二」～「尾四」は、昭和一〇年（一九三五）に財団法人尾張徳川黎明会（現在の財団法人徳川黎明会）によって開設された蓬左文庫において整理・分類されたもので、「尾五」～「尾八」は、その後当研究所において整理された文書群である。本号では「尾張徳川家文書目録」（六）として、「尾四」の文書群のうち、史料番号一～一〇までを収録した。なお、本目録は、文書点数が非常に多いことや紙幅の関係などから、一度に収録することが困難であるため、「尾二」～「尾八」までの文書群を複数回に分けて掲載していくことにする。

一 本目録では、各史料について、①番号、②表題、③年月日、④作成者（差出）、⑤形態・数量、⑥備考の六項目を採録した。

一 番号は、原則として、過去に蓬左文庫によって付された枝番号形式の番号を使用した。一部については、以前に当研究所において付された番号を使用したものもある。本目録の配列は、この番号の順序にしたがっている。なお、史料の配列や出納・閲覧の都合上、欠番号はそのままにしてある（本号の目録では、尾四一四一、および六八七七七が欠番号である）。

一 表題は、原則として内題（巻頭題）を採用し、外題を（ ）付きで直後に示した（なお、内題と外題が同じ場合には、（ ）の表記は省略した）。また、表題のみでは内容の把握が困難と考えられる史料については、必要に応じて

じて表題の直後に（ ）付きで内容に関する補記を行った。

一 年月日は、原則として史料に記載されている年月日（内容年）を示すことにし、目録作成時に推定した部分については、（ ）を付けて適宜表記した。また、年次記載がなくても、おおよその作成年代がわかる場合には、（安政年間）、（江戸末期）、（明治初年）などと付して、該当する年号や時期を示すことにし、推定不能の場合には、（年不詳）とした。刊本・写本の場合には、その史料が刊行または、書写された時点の年次を表記し、刊本のうち、後印本であることが明らかな場合のものについては、初版年次に続いて（ ）付きで後印年次を記した。

一 形態については、縦（縦帳）・横（横長帳）・横半（横半帳）・状（切紙・続紙・折紙）・鋪（絵図）・綴（作成契機異なる複数の史料を綴ったもの）・帖（折本）・卷子などと示した。小型本については、「横・小」、「縦・小」などと表記した（ただし、本号収録分はすべて縦帳である）。

一 数量は、出納・閲覧の便宜を考慮して、後年の改装により、分冊あるいは合綴されたことが明らかな場合でも、現在保存されている状態での冊数を採用した。

一 備考には、史料の概略や別題、史料の中に挟み込まれた書状・書付・絵図面および綴じ込まれた文書の有無、欠本、合綴、改装の状態など、必要と思われる事柄を*印を付けて適宜記した。

一 複数におよぶ冊子で構成されている史料については、出納や閲覧の便宜のため、原則として各冊ごとの細目を掲載した。細目の各項目における配列は、表題・年月日・作成者（差出）・形態・備考（冒頭に※を付した）の順とし、それぞれを二字アキで示したが、該当する項目に記載がない場合には、省略して表記している。

一 本目録は、当研究所で過去に採録したカードを基礎とし、これに今回の目録掲載に際して改めて実施した内容調査の結果を加えて構成した。内容調査、データ入力、および原稿化作業は、白根孝胤が担当した。

尾張徳川家歴代藩主一覽

代	諱	生没年月日	藩主就任期間	諡号 院号	実父 生母	正室(簾中) 継室
1	義直	慶長五年十一月二八日、 慶安三年五月七日	慶長一二年閏四月二六日、 慶安三年五月七日	敬公	徳川家康 御亀(相應院)	春姫(高原院、浅野幸長女)
2	光友	寛永二年七月二九日、 元禄一三年一〇月一六日	慶安三年六月二八日、 元禄六年四月二五日(隠居)	正公	義直 尉(歆喜院)	千代姫(靈仙院、徳川家光女)
3	綱誠	慶安五年八月二日、 元禄一二年六月五日	元禄六年四月二五日、 元禄一二年六月五日	瑞龍院	光友 千代姫(靈仙院)	新君(瑩珠院、広幡忠幸女)
4	吉通	元禄二年九月一七日、 正徳三年七月二六日	元禄一二年七月一日、 正徳三年七月二六日	立公	綱誠 下総(本寿院)	輔君(瑞祥院、九条輔実女)
5	五郎太	宝永八年一月九日、 正徳三年一〇月一八日	正徳三年八月二九日、 正徳三年一〇月一八日	達公	吉通	安己君(光雲院、近衛家熙女)
6	継友	元禄五年二月八日、 享保一五年一月二七日	正徳三年一月一日、 享保一五年一月二七日	曜公	綱誠 和泉(泉光院)	
7	宗春	元禄九年一〇月二六日、 明和元年一〇月八日	享保一五年一月二八日、 元文四年一月一三日(隠居)	暹公	綱誠 梅津(宣揚院)	
8	宗勝	宝永二年六月二日、 宝曆一一年六月二四日	元文四年一月一三日、 宝曆一一年六月二四日	戴公	松平友著 繁(円珠院)	三姫(宝蓮院、徳川吉通女)
9	宗睦	享保一八年九月二〇日、 寛政一一年一二月二四日	宝曆一一年八月五日、 寛政一一年一二月二四日	明公	宗勝 嘉代(英巖院)	好君(転陵院、近衛家久女)
10	斉朝	寛政五年八月二三日、 嘉永三年五月一三日	寛政一二年一月二九日、 文政一〇年八月一五日(隠居)	順公	一橋治国 彰君(乘蓮院)	淑姫(清湛院、徳川家斉女)
11	斉温	文政二年五月二九日、 天保一〇年三月二六日	文政一〇年八月一五日、 天保一〇年三月二六日	天慈院	良恭院 瑠璃(青蓮院)	愛姫(琮樹院、田安斉匡女)
12	斉荘	文化七年六月一三日、 弘化二年七月二〇日	天保一〇年三月二六日、 弘化二年七月二〇日	懿公	徳川家斉 蝶(速成院)	福君(俊恭院、鷹司政熙女)
13	慶臧	天保七年六月一五日、 嘉永二年五月七日	弘化二年八月二六日、 嘉永二年五月七日	欽公	田安斉匡 れい(青松院)	猶姫(貞慎院、田安斉匡女)
14	慶勝	文政七年三月一五日、 明治一六年八月一日	嘉永二年六月四日、 安政五年七月五日(隠居)	文公	松平義建 規姫(真證院)	矩姫(貞徳院、丹羽長富女)
15	茂徳	天保二年五月二日、 明治一七年三月六日	安政五年七月五日、 文久三年九月一三日(隠居)	賢徳院	松平義建 みさを(陽清院)	政姫(崇松院、丹羽長富女)
16	義宜	安政五年五月二四日、 明治八年一二月二四日	文久三年九月一三日、 明治八年一二月二四日	靖公	慶勝 多満(禎正院)	

※「御家御統帳」「御日記」「御記録(徳川林政史研究所蔵)」「尾張徳川家系譜」「名古屋叢書三編」第一巻より作成。なお、系譜・家譜によつて生没年月日に若干の相違がある。なお、一六代義宜は当主であつた期間を記す。

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

尾四一 御居御願書類

(明治四年〜同十五年)

徳川家

縦 一

*「邸宅願」「士族拝借願」「兩國橋上馬車通行願」「賜邸之内町並貸地願」「献上金願」「学資金献納願」「旅行願」「売薬営業鑑札御下付願」等の願書類をまとめて綴じ込んだもの。

尾四二 諸省御達留

(明治一〇年〜同十二年)

(徳川邸)

縦 六

第一冊 諸省御達留(一)

(明治一一年一月〜同三年六月)

(徳川邸)

※太政官・式部省・大蔵省・宮内省・陸軍工兵第一方面御本署等からの御達や書状類を綴じ込んだもの。

第二冊 諸省御達留(二)

(明治一三年四月〜同五年七月)

(徳川邸)

※「宮内省差出・徳川慶勝宛達書(勲章授与式ニ付)」「赤坂仮皇居御苑觀菊会招待状」「(英國尚皇孫殿下供覧ノ為メ於吹上御苑騎戦相催候ニ付)案内状」等の括り付けあり。

第三冊 諸省御達留(三)

(明治一〇年一〇月〜同十七年二月)

(徳川邸)

※「(延遼館ニ於テ有栖川一品親王并御息所兩殿下ヨリ夜会被相催候ニ付)案内状」の括り付けあり。

第四冊 諸省御達留(一)(四)

(明治一八年一月〜同十九年二月)

徳川邸

※華族局・賞勲局・宮内省・外務省・農商務省等からの御達や書状類を綴つたもの。冒頭に「従前ハ御達書ト御答達トハ別冊ナレトモ区々ニシテ見別難キ儀モ有之ニ付、以来此帳簿ニ總テ可綴込事」とあり。

第五冊 諸省御達留(二)(五)

(明治一九年二月〜同二十年九月)

(徳川邸)

※諸省の御達の他、学習院長・学習院教務課・東京府知事との書類もあり。封筒・葉書の綴じ込み多数あり。

第六冊 諸省御達留(二)(六)

(明治二十年九月〜同二十二年二月)

(徳川邸)

※諸省の御達の他、華族会館長・愛知県知事・本所区長等との書類あり。封筒・葉書の綴じ込み多数あり。

尾四三 公務諸達書綴込 同準拠之件

(明治二十三年〜同二十六年)

徳川事務局

縦 三

第一冊 公務諸達書綴込 同準拠之件(一)

(明治二十三年一月〜八月)

徳川事務局

※宮内省・爵位局・華族会館・内国勸業博覧会・帝国博物館・日本美術協会・北海道炭礦鉄道株式会社・本所区長・日本赤十字社等と徳川義禮・義恕との書翰を綴じ込んだもの。封筒・葉書・招待状・案内状等の綴じ込み多数あり。

第二冊 公務諸達書綴込 同準拠之件(二)

(明治二十三年九月〜同二十四年二月)

(徳川事務局)

※宮内大臣・貴族院議長・東京府知事・華族会館・第十五国立銀行頭取・大日本帝国水難救済会・北海道炭礦鉄道株式会社等との書翰を綴じ込んだもの。封筒・葉書の綴じ込み多数あり。

第三冊 公務諸達書綴込(三)

(明治二十五年三月〜同二十六年二月)

(徳川事務局)

※宮内大臣・式部職・貴族院議長・日本美術協会等との書翰を綴じ込んだもの。封筒・葉書・招待状等の綴じ込み多数あり。

尾四一四 公達書類

(明治二十九年一月)
同四一年六月 (徳川家)

縦 一

*宮内省・爵位局の書類を綴ったもの。封筒・宮中招待状などの綴じ込み多数あり。

尾四一五 替目留

(明治二年〜同三六年) (徳川家)

縦 四

*家扶・家従・女中などの御用向きを月ごとに書き留めたもの。

第一冊 替目留(二) (明治四年〜同七年一月) (徳川家)

第二冊 替目留(一) (明治七年〜同一九年) (徳川家)

第三冊 替目留(三) (明治二〇年〜同三六年一月) (徳川家)

第四冊 替目留(四) (明治二年) (徳川家)

※(一)〜(三)の留帳とは別帳。

尾四一六 〔豊国会書類〕

(明治二十九年〜同三二年) (徳川邸)

縦 一

*豊国会による豊臣秀吉の墳墓(京都東山阿弥陀ヶ峰)修築に関する書翰や書類を綴じ込んだもの。他に「豊太閤三百年祭参拝人乗車船心得」「汽車汽船割引票」「謝状」(豊国会会長侯爵黒田長成差出・侯爵徳川義禮宛)「豊国会委員長長嘱託状」(黒田長成差出・徳川義禮宛等計一点あり。包紙あり。

尾四一七 〔尾三水産会書類〕

(明治一九年〜同三二年) (尾三水産会)

縦 一

尾四一八 〔華族会館書類〕

(明治二五年〜同四一年) (徳川邸)

縦 一

*書翰・葉書、および華族会館規則、報告書を綴じ込んでいる。

尾四一九 〔武揚学校書類〕

(明治三三年〜同三三年) (武揚学校)

縦 一

*「武揚学校職員生徒人名簿」「陸軍士官学校第七期卒業本校出身姓名」等の他、多くの書翰を綴じ込んでいる。侯爵徳川義禮は武揚学校総裁。

尾四二〇 〔可睡齋伽藍保存会書類〕

(明治三一年〜同三二年) (庶務係)

縦 一

*「重野文学博士撰 可睡齋秋葉絵本殿碑文」「遠州秋葉絵本殿可睡齋保存会設立主意書」の他、多くの書翰を貼り付けている。可睡齋は徳川家康ゆかりの地。

尾四二一 〔台湾協会書類〕

(明治三二年四月)
同三四年八月 (庶務係)

縦 一

*「台湾協会名古屋支部長推薦状」(台湾協会会頭子爵桂太郎差出・侯爵徳川義禮宛)の貼り付けあり(封筒入り)。

尾張徳川家文書目録(六)

番 号 表 題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

尾四―三〔愛知育見院書類〕

(明治一八年～同三二年)

(愛知育見院)

縦 一

*規則・総会議事録の他、書翰・葉書の綴じ込みあり。徳川義禮は愛知育見院長。

尾四―三 東京社寺之記 附尾州ノ分共

(明治四年～同一六年)

杜寺懸

縦 五

第一冊 東京社寺之記 附尾州ノ分共(一)

(明治四年～同五年) 杜寺懸

※「東京之分」「尾州之部」で構成。「天徳寺伝通院已年分御備物代半減渡方留」あり。

第二冊 〔東京社寺之記 附尾州ノ分共二〕

(明治五年～同八年) (杜寺懸)

※「西光庵ノ図」二枚の括り付けあり(包紙あり)。

第三冊 〔東京社寺之記 附尾州ノ分共三〕

(明治八年～同九年) (杜寺懸)

※「東京ノ御墓所御位牌御安置之分」とあり。「明治八年十一月 伝通院御霊屋御模様替御尊牌御合併一卷」あり。「伝通院御霊屋取請御場所替ニ付右院より差出候書付并御霊屋図面金銀受取書共入」三通、および「天徳寺再建絵図」の括り付けあり。

第四冊 〔東京社寺之記 附尾州ノ分共四〕

(明治一〇年～同一年) (杜寺懸)

※「芝御霊殿御修復御仕様書 十年九月」「明治十年十二月什物帳 松蓮社」等あり。

第五冊 〔東京社寺之記 附尾州ノ分共五〕

(明治一一年～同一六年) (杜寺懸)

尾四―四 杜寺江付願達留

(明治二年～同三三年)

杜寺掛

縦 四

第一冊 杜寺江付願達留(一)

(明治二年～同五年) 杜寺掛

※「願達」「杜寺願達」の項目で構成。「建中寺住居替今般變考図絵綴」の綴じ込みあり。

第二冊 〔杜寺江付願達留二〕

(明治四年～同八年) (杜寺掛)

※「境内其他什物等取調書 第一大区六小区愛知郡筒井町建中寺」等あり。「(建中寺住居替)絵図面」の綴じ込みあり。

第三冊 〔杜寺江付願達留三〕

(明治八年～同一八年) (杜寺掛)

※「(高岳院)境内朱引之場所官有地無代償御下渡ニ付絵図面」の綴じ込みあり。

第四冊 〔杜寺江付願達留四〕

(明治一〇年～同三三年) (杜寺掛)

※「建中寺境内并墓地量地野帳」「什物明細取調書 名古屋筒井町建中寺」あり。「東春日井郡省掛村官林絵図面」(彩色あり)の綴じ込みあり。

尾四―五 明治十六年七月ヨリ 杜寺留〔東京〕

(明治一一年～同三三年)

横網町 徳川邸

縦 一

*「西光庵絵図面」「西光庵泊定御墓地図」「伝通院御廟位置之図」の綴じ込みあり。

尾四一六 御法事御供養留

(明治五年～同二四年)

一等家従

縦

二

- 第一冊 御法事御供養留(一)
第二冊 御法事御供養留(二)

(明治五年～同二四年)

一等家従

※「十一年二月廿二日 貞慎院様七回御忌天徳寺おゐて軽ク御供養被命ニ付調下」等あり。貞慎院は田安斉匡の息女で、二代藩主徳川齊莊の簾中であつた猶姫のこと。

尾四一七 萬松寺・慶雲軒・長栄寺等寺方江付候達留

(嘉永四年～明治五年)

御小納戸頭取・御小納戸詰組頭・同役懸

縦

二

- 第一冊 萬松寺・慶雲軒・長栄寺等寺方江付候達留(一)

(嘉永四年～万延元年)

御小納戸頭取・御小納戸詰組頭・同役懸

※「同」(万松寺御宝蔵御修復料・灯明料從御側被下置ニ付)の書付の括り付けあり。

- 第二冊 萬松寺・慶雲軒・長栄寺等寺方江付候達留(二)

(万延二年～明治五年)

御小納戸頭取・御小納戸詰組頭・同役懸

※「慶雲軒・長栄寺江被下候御定金等書拔」あり。

尾四一八 「名地往復簿」

(明治七年～同一七年)

徳川邸・用途懸・庶務課

縦

一三

*東京および名古屋の用途懸や一等家従等の書翰を書き留めたもの。

- 第一冊 名地往復便覧「名地往復簿一」

(明治七年一月～八月)

用途懸

※書翰の貼り付け、括り付けあり。

- 第二冊 「名地往復簿二」

(明治七年八月～同八年三月)

(用途懸)

※書付の括り付け一通あり。

- 第三冊 「名地往復簿三」

(明治八年三月～一〇月)

(用途掛)

- 第四冊 「名地往復簿四」

(明治八年九月～同九年一月)

(用途懸)

- 第五冊 「名地往復簿五」

(明治九年一月～七月)

(用途懸)

※「海西郡寛延新田全村図」(彩色あり)の綴じ込みあり。

- 第六冊 「名地往復簿六」

(明治九年六月～同二一年四月)

(用途懸)

- 第七冊 名地往復簿(一)(七)

(明治一〇年一月～同二一年三月)

徳川邸

- 第八冊 「名地往復簿二」(八)

(明治二一年三月～一〇月)

(徳川邸)

- 第九冊 「名地往復簿三」(九)

(明治二一年一〇月～同二二年二月)

(徳川邸)

- 第一〇冊 名地往復簿(一)(十)

(明治二三年二月～同二四年二月)

庶務課

※中表紙に「十四年一月ヨリ 愛地往復簿 庶務課」とあり。封筒・手紙の貼り付けあり。

- 第十一冊 「名地往復簿二」(十一)

(明治二四年二月～同二五年二月)

(庶務課)

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

尾四一 愛知往復簿

(明治一二年二月、同二年二月) (庶務課)

縦 六

*東京および愛知の尾張徳川家扶の書翰を貼り付け、または書き留めたもの。

第一冊 従明治庚辰第一月 愛知往復簿(一) (明治一二年二月、同一年六月) (庶務課)

※「慶応四年辰二月廿五日 古金銀改員数写」あり。「金銀分銅・赤銅分銅・金銀古銭類・金銀泥 御小納戸頭取」横帳の綴じ込みあり。

第二冊 愛知往復簿(二) (明治一三年六月、同一年一月) (庶務課)

第三冊 愛知往復簿(一)(三) (明治一八年一月、同一年三月) 庶務課

※「知多郡大府村広恵新田之図」「東春日井郡沓掛村官林絵図面」「知多郡大田村字川南新田之図」(いずれも彩色)の綴じ込みあり。

第四冊 愛知往復簿(二)(四) (明治一九年三月、同一年二月) (庶務課)

※「建中寺御宝蔵焼失ニ付御武器焼ケ残り取調候分」の書上あり。葉書の括り付けあり。

第五冊 愛知往復簿(三)(五) (明治一九年一〇月、同一年一月) (庶務課)

※「新邸地御控略図」「道徳前新田用水路図」「海西郡稲荷新田御扣葺生略図」「木曾川改修之略図」(いずれも彩色)の綴じ込みあり。葉書の貼り付けあり。

第六冊 愛知往復簿(四)(六) (明治二一年一月、同一年二月) (庶務課)

※「愛知郡上名古屋村御扣」図(彩色)、「新邸地略図」と貼紙あり、包紙入り、「(新出来町)屋鋪修繕図」の綴じ込みあり。

尾四二 愛知通信往復簿

(明治二二年、同二四年) 用度課

縦 四

第一冊 愛知通信往復留(愛知通信往復簿一) (明治二二年一月、六月) 用度課

※「名古屋区新出来町御扣地図」「大曾根町・新出来町御扣地図」「名古屋区大曾根町御扣地図」「小牧公園平面之図」「小牧公園建物図四葉」「愛知郡道徳前新田略図」「海西郡稲荷新田萱生地略図」「名古屋区数寄屋町御扣地略図」「大曾根町略図」(いずれも彩色)の綴じ込みあり。書翰・葉書・封筒の貼り付けあり。

第二冊 愛知通信往復簿(二) (明治二二年三月、同一年三月) (用度課)

※「(御新築場図面)」「大曾根邸図面(ともに彩色)」「小牧公園建物図面」等の綴じ込みあり。葉書・封筒・電報の綴じ込みあり。

第三冊 愛知通信往復簿(三) (明治二三年二月、同一年二月) (用度課)

※「土地整理実測字限地図(写)」大森村大森寺現今境内」「(鉄道御用地図面)」「(いずれも彩色)等の綴じ込みあり。葉書・電報の綴じ込みあり。

第四冊 (愛知通信往復簿 四) (明治三年二月〜同四年二月) (用度課)

※葉書の挟み込み、および封筒・電報の綴じ込みあり。

尾四―三 愛知文書綴込

(明治二五年〜同二六年) 本所徳川邸

縦 二

第一冊 愛知文書綴込(二) (明治二五年一月〜一〇月) 本所徳川邸

※「浄土宗学愛知支校仮新築之図」の綴じ込みあり。葉書・封筒・電報の綴じ込みあり。

第二冊 (愛知文書綴込二) (明治二五年一月〜同二六年二月) (本所徳川邸)

※葉書・電報の綴じ込みあり。

尾四―三 名古屋・東京間往復書 附回議書

(明治二七年〜同二八年) 東京庶務課

縦 五

※家令・家扶の往復書翰(他家との書翰も含む)を書き留めたもの。

第一冊 名古屋・東京間往復書 附回議書(一) (明治二七年一月〜六月) 東京庶務課

※書翰の貼り付けもあり。葉書・電報綴じ込みあり。「明治廿七年六月」震災ニ付破損場所御修繕見積り書」あり。

第二冊 (名古屋・東京間往復書 附回議書二) (明治二七年六月〜九月) (東京庶務課)

※「御土蔵修復仕様書」(浅草瓦町御別邸の震災修理)、「川端御土蔵注文書」「瓦町中御土蔵注文書」あり。葉書・封筒・電報の綴じ込み、および貼り付けあり。

第三冊 (名古屋・東京間往復書 附回議書三) (明治二七年一〇月〜二月) (東京庶務課)

※「東京横網町邸内建物移転仕様書」あり。葉書・封筒・電報の綴じ込み、および貼り付けあり。

第四冊 名古屋・東京間往復書 附回議書(一)(四) (明治二八年一月〜七月) 東京庶務課

※「御土蔵仕様書」あり。葉書・封筒・電報の綴じ込み、および貼り付けあり。

第五冊 (名古屋・東京間往復書 附回議書二)(五) (明治二八年七月〜十二月) (東京庶務課)

※葉書・封筒・電報の綴じ込み、および貼り付けあり。

尾四―三 本邸往復書綴並回議書等

(明治二九年〜同三〇年) 家扶

縦 四

※尾張徳川家の名古屋本邸と東京別邸との家扶の書翰を書き留めたもの。

第一冊 本邸往復書綴並回議書等(一) (明治二九年一月〜六月) 家扶

※書翰の貼り付けもあり。葉書・封筒・電報の貼り付け、および綴じ込みあり。

第二冊 (本邸往復書綴並回議書等二) (明治二九年六月〜十二月) (家扶)

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

一〇

※葉書・封筒・電報の貼り付け、および綴じ込みあり。
第三冊 本邸往復書綴並回議書等(一)(三) (明治三〇年一月〜七月) (家扶)

※「御靈殿及庫裡現在略図昭和三十年三月」(松連社)の綴じ込みあり。「御畳表替御積書」あり。葉書・封筒・電報の貼り付け、および綴じ込みあり。

第四冊 [本邸往復書綴並回議書等(一)(四)] (明治三〇年七月〜二月) (家扶)

※「靈仙院様二百回御遠忌御法要式」書付の挟み込みあり。靈仙院は三代將軍徳川家光の息女で二代藩主徳川光友の簾中であつた千代姫のこと。葉書・封筒・電報の貼り付け、および綴じ込みあり。

尾四―三 輪議裁定書綴

(明治三三年二月〜同二四年二月) 徳川役局

縦 二

*庶務掛・会計掛等による稟議書の留帳。

第一冊 輪議裁定書綴(一) (明治三三年二月〜同二四年五月) 徳川役局

※関連書翰の貼り付け、および括り付けあり。

第二冊 [輪議裁定書綴(一)] (明治二四年五月〜二月) (徳川役局)

※書翰・葉書・電報等の貼り付け、および括り付けあり。

尾四―五 回議書

(明治二五年) (徳川家)

縦 二

*徳川家庶務掛等による稟議書の留帳、および回答書・関係書類をまとめたもの。

第一冊 回議書(一) (明治二五年一月〜九月) (徳川家)

※書翰の貼り付け、および葉書・封筒の綴じ込みあり。

第二冊 [回議書(一)] (明治二五年九月〜二月) (徳川家)

※書翰の貼り付け、および葉書・封筒・関連書類の綴じ込みあり。

尾四―六 回議綴込

(明治二六年) (徳川家)

縦 二

*徳川家庶務掛等による稟議書の留帳、および回答書・関係書類をまとめたもの。

第一冊 回議綴込(一) (明治二六年一月〜七月) (徳川家)

※書翰の貼り付け、および葉書・封筒の綴じ込みあり。

第二冊 [回議綴込(一)] (明治二六年七月〜二月) (徳川家)

※書翰の貼り付け、および葉書・封筒・電報・図面・関係書類の綴じ込みあり。

尾四一七 禄券ニ付御改革御人減等一卷 (明治九年八月・同 一三年四月一六日) (徳川家) 縦 一

尾四一六 戊七月九日申繼之記 *「明治九年八月十六日 禄券被仰出御改革ニ付男女御雇減員調」「明治九年八月 御入費御改正調」「貸附金初御益調大凡」あり。関連書翰の貼り付けあり。 (明治七年七月九日・一二月二五日) 一等当直 縦 一

尾四一五 東京府庁布達 *東京府庁からの達書や規則等を書き留めたもの。 明治一二年 縦 一

尾四一四 倫敦ヨリ来翰 *徳川義禮の英国留学において、東京の尾張徳川家の家扶に宛てた書翰をまとめたもの。 (明治一八年六月・同二〇年八月) (徳川家) 縦 一

尾四一三 日光原町御邸留 *表紙に「明治廿三年五月 寺崎幾太郎御留守心得以后綴込」とあり。日光御別邸の売り渡しに関する稟議書あり。「官有地拝借願地図面」(彩色)、地租領収書等の綴の挟み込みあり。 (明治二二年・同三〇年) (徳川家) 縦 一

尾四一三 押上邸諸綴込 *押上邸御控地の売却に関する書類(約定証等)や書翰、稟議書を綴じ込んだもの。 (明治二八年・同二九年) (徳川家) 縦 一

尾四一三 寛政六寅年起 御供養料一卷 *表紙に「御代々様 源孝様 源昭様御供養料ハ二之帳ニ見」とあり。源孝様は九代藩主徳川宗睦の長男治休、源昭様は宗睦の二男治典のこと。尾張家歴代当主(分家も含む)・子女・簾中等の御供養料・御祠堂金等を書き留めたもの。 (寛政六年・文政七年) 縦 一

尾四一三 寛政元酉年起 諸御法事柄御議定一卷 *「此御法事柄御議定一卷下綴も無之一かけにいたし有之候付、文化十四十一月取集、此通留冊致出来候事、右之通ニ付綴方再応相味ひ候得とも年歴候事ニ付、綴方此通りにて間違等無之哉無覚束候間見合せ候節々猶更入念如何敷所有之候ハ、速ニ追補可致事」とあり。「寛政元酉 御簾中御法事柄可被致改哉之起」「同 諸法事柄可被改哉之起」「同二戌 江戸方ハ御法事料ニ而相極尾州方出僧数ニ釣合候様ニとの調」「同 御布施等被下方調」「同 御議定ニ洩候御方様御法事柄年寄衆江之達」「同 大久保・川田久保御方様御年回之節之儀年寄衆江之達」「同三亥 御実母様方等御法事之節御役人出方之儀年寄衆江之達」等の項目あり。 文化一〇年十一月 縦 一

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

尾四一三 愷千代様御養子後初而〔始テ〕大奥御登城日記

(寛政一一年正月五日
三月二十七日)

縦 一

*愷千代様はのちの一〇代藩主徳川斉朝のこと。

尾四一三

源戴様御代於此表御誕生被為在候御子様方并源白様御子
多姫様江附候御取扱書拔之留〔在候御子様方源白様御子
多姫様へ付候御取扱書拔ノ留〕

安政四年二月

縦 一

*内容は元文五年から天明六年まで。「多姫様御統略図」(包入)の括り付けあり。源戴様は八代藩主徳川宗勝、源白様は尾張家分家の高須藩第五代藩主松平義柄(のち治行)のこと。多姫(のち俊姫)は義柄の息女。

尾四一三

明治二巳年 朝廷より被仰出留

(嘉永六年〜明治二年)

縦 一

尾四一三

御広敷取扱 社寺留

(慶応元年〜明治四年)

家従

縦 一

*「明治四未年 東京四谷不動尊御祈禱一卷 但廃止」「東京四谷御下屋敷御嶽社御祈禱料等取扱一卷」「明治四年末 四谷御嶽社拜殿御修復願」「明治四未年

東京四谷御嶽御祈禱料」「明治一巳年三月 東京市谷八幡境内撞鐘被廢ニ付取扱一卷」「明治四未年 市谷八幡御祈禱料」の項目あり。

尾四一三

明治二巳十二月 御附届御断綴込

明治二年

内家録事

縦 一

*書翰の貼り付けあり。

尾四一四

被進被下帳

(文久三年〜明治二年)

御小納戸頭取・従事

縦 三

第一冊 被進被下帳(二)

(文久三年〜慶応元年)

御小納戸頭取

※朝廷・撰家・寺院・諸大名への献上物、および拝領物の留帳。

第二冊 〔被進被下帳二〕

(慶応元年〜明治三年)

(御小納戸頭取)

※「京差上物御賞被下伺」あり。

第三冊 被進被下帳(三)

(明治二年三月〜五月)

従事

尾四一四

源懿様木像御取扱ニ関スル書類

(明治二年〜同五年)

縦 一

*源懿様御木像(莊賢山王様)の納置場所を柳原長栄寺に引き移したことに関する書類。源懿様は一二代藩主徳川斉荘のこと。

尾四一四

御音信取扱留

(明治三年〜同四年六月)

御音信懸

縦 一

*「年中差走り表江達し物写 御減方朱書之通 新御殿御右筆写」「年中差走り御広敷江申出る分 新御殿御右筆写」あり。手書きの細目次あり。

尾四一 四 御音信留

(明治三年～同四年)

御音信懸

縦

尾四一 四 (御使贈答)(留)

(明治三年～同四年)

縦

*三河諸藩(刈谷・掌母・重原・西大平・西尾・西端・豊橋等)や美濃諸藩(今尾・大山等)の使者による贈答の記録。

尾四一 四 御音信并被下物帳

(文久三年四月～明治四年一〇月)

役懸り

縦

第一冊 御音信并被下物帳(二)

(文久三年四月～慶応元年一〇月)

役懸り

※藩主および一族(子息・簾中)、大奥・家臣、他的大名や寺社等への音信物・被下物の留帳。

第二冊 御音信并被下物帳(二)

(慶応元年一月～同三年一〇月)

(役懸り)

※「御内献一卷 附御老中初被下共」「前大納言様方公方様江御内献并御老中江被遣御品」、「松井市兵衛京都江御使三付一卷 御小納戸頭取」あり。

第三冊 御音信并被下物帳(三)

(慶応三年一月～明治四年一〇月)

(役懸り)

尾四一 四

御法事取扱吟味頭書 極事見出次第節々此帳江認置筈

文政二二年一月

縦

*「寛政二戌年一御法事式大旨調一卷 御議定共」「御固之事」「衣服品」の項目で構成。「御宝塔御玉垣起図 但淨形院御恰好寸法ニ御座候」(包入)の括り付けあり。

尾四一 四

(御一新二付)記録

(明治三年正月～同五年二月)

徳川家

縦

第一冊 (御一新二付)記録(二)

(明治三年正月～閏一〇月)

徳川家

※一部虫損あり。「駅路改正御布告写」あり。手書きの細目あり。

第二冊 (御一新二付)(記録二)

(明治三年九月～同四年六月)

(徳川家)

第三冊 (御一新二付)(記録三)

(明治四年六月～同五年二月)

(徳川家)

尾四一 四

旧名古屋藩士族御救助一卷

(明治一一年～同二二年)

名古屋御家扶

縦

*「明治十五年三月起 旧藩士族就産資金御出金等一卷 名古屋御家扶」「明治十六年分 就産場入費 同寄納金支出予算書」「授産場規則 織工場規則」等あり。「桑園之図控」(彩色)あり。その他、書翰の貼り付け、および括り付けあり。

尾四一 五

麝香間御回達元帳

(明治一〇年～同二二年)

徳川邸

縦

尾四一 五

麝香間御回達副翰戻綴

(明治一〇年一月～九月)

徳川邸

縦

*手書きの細目次あり。

尾張徳川家文書目録(一六)

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

尾四一五 御族長御回章留

(明治一二年一月～同一年二月)

(徳川家)

縦 四

第一冊 御族長御回章留(一)

(明治一二年一月～同一年一月)

(徳川家)

※「明治十一己卯年(同十二年の誤記カ)十一月二十一日ヨリ徳川茂栄様族長御担任相成候事」とあり。書翰・葉書の貼り付けあり。手書きの細目次あり。

第二冊 御族長御回章留(二)

(明治一三年一月～同一年一月)

(徳川家)

※書付の括り付け、葉書の貼り付けあり。

第三冊 御族長御回章留(三)

(明治一四年一月～同一年二月)

(徳川家)

※華族局との書翰・留書を中心に綴じ込んでいる。

第四冊 御族長御回章留(四)

(明治一五年二月～同一年二月)

(徳川家)

※「華族会館規則」(活版印刷)等の綴じ込みあり。書翰・葉書の貼り付けあり。

尾四一五 御族長御回章綴

(明治一六年二月～同一年一月)

(徳川家)

縦 一

*「明治十六年自七月至十二月 半年度金銭出納報告書一通」「明治十七年自七月同至十二月 会館経費予算書一通」(袋入り)の括り付けあり。「華族会館会議筆記」(活版印刷)等の綴じ込みあり。書翰・葉書の貼り付けあり。手書きの細目次の冊子あり。

尾四一五 諸家廻状留

(明治一二年一月～同一年二月)

(徳川家)

縦 三

*旧大名家華族・旧公家華族(麁香間祇候詰)からの書翰の留帳。

第一冊 諸家廻状留(一)

(明治一二年一月～同一年一月)

(徳川家)

※書翰・葉書の貼り付けあり。手書きの細目次の冊子あり。

第二冊 諸家廻状留(二)

(明治一二年一月～同一年九月)

(徳川家)

※書翰・葉書の貼り付けあり。

第三冊 諸家廻状留(三)

(明治一四年九月～同一年二月)

(徳川家)

※書翰・葉書の貼り付けあり。

尾四一五 戸籍回章留

(明治七年一月～同一年九月)

用度掛

縦 二

*東京府知事大久保一翁や市在各区区长・戸長からの通達書等を書き留めたもの。

第一冊 戸籍回章留(一) (明治七年一月〜同八年七月) (用度掛)

第二冊 戸籍回章留(二) (明治八年七月〜同十一年九月) (用度掛)

尾四一 区務所諸用留

(明治十一年一月〜同十六年二月) (徳川家)

*第七大区七小区(本所地区)における徳川家および家扶・士族等の諸届書類の留帳。

第一冊 区務所諸用留(一) (明治十一年一月〜同十三年一月) (徳川家)

※封筒の貼り付けあり。

第二冊 区務所諸用留(二) (明治十三年一月〜同十五年一月) (徳川家)

第三冊 区務所諸用留(三) (明治十五年一月〜同十九年二月) (徳川家)

第四冊 区務所諸用留(四) (明治十九年一月〜同二十六年二月) (徳川家)

※「明治十九年十一月拾九番地拾七番地人員調」あり。封筒の貼り付け、および綴じ込みあり。

尾四一 五 雑事録 附萬年会録事

(明治二十二年九月〜同二十八年六月) (徳川家庶務課・徳川邸用度掛)

第一冊 雑事録 附萬年会録事(一) (明治二十二年一月〜同二十三年二月) (徳川家庶務課)

※「国会開設認可懇請ノ為メ同盟懇望案」(従五位様学習御退学大学予備門御入学一卷)等あり。従五位様は徳川義禮(のちに尾張徳川家一八代当主)のこと。書翰の貼り付け、葉書の綴じ込みあり。

第二冊 雑事録 附萬年会録事(二) (明治二十二年九月〜同二十五年七月) (徳川家庶務課)

※「明治十四年老公病状日誌」あり。「三河国額田郡岡崎公園東照宮社殿新築之図」の綴じ込みあり。書翰の貼り付け、および葉書の綴じ込みあり。

第三冊 雑事録 附萬年会録事(三) (明治二十五年一月〜同二十八年四月) (徳川家庶務課)

※書翰・封筒・葉書の貼り付け、および綴じ込みあり。

第四冊 雑事留(雑事録一)(四) (明治二十八年一月〜同二十九年五月) (徳川邸用度掛)

※「葛原岡神社創建并碑文興立義盟録」(活版印刷)、「(西光庵)石灯笼奉納願」あり。書翰・葉書・関連書類の貼り付け、および綴じ込みあり。

第五冊 雑事録(二)(五) (明治二十九年六月〜同三十一年一月) (徳川邸用度掛)

※書翰・封筒・葉書・名刺および関連書類の貼り付け、綴じ込み、挟み込み多数あり。

第六冊 雑事録(三)(六) (明治三十一年一月〜同三十八年六月) (徳川邸用度掛)

尾張徳川家文書目録(一八)

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

尾四一五 朝廷属史

第一冊 朝廷属史(二)

(明治四年四月〜同五年五月)

本所徳川邸

同一年(二月)

本所徳川邸

縦 三

※書翰・封筒・葉書・名刺および関連書類の貼り付け、綴じ込み、挟み込み多数あり。
※太政官・宮内省・東京府等からの御達や書翰の留帳。「本所相吉町小笠原左門上邸拝借地図面」〔一位徳川慶勝拝借邸図面〕の括り付けあり。

第二冊 朝廷属史(二)

(明治五年六月〜同八年二月)

(本所徳川邸)

第三冊 朝廷属史(三)

(明治八年二月〜同一年(二月))

(本所徳川邸)

※「八年四月四日 聖上瓦町御賜邸江臨幸之記」(明治天皇の尾張徳川家浅草瓦町邸への臨幸の記録)あり。そのなかに「前田儀屯手録画 図一枚添」の括り付けあり。

尾四一五 諸省へ御達留

(明治一年一月〜同一年九月)

(徳川家)

縦 二

第一冊 諸省へ御達留(一)

(明治一年一月〜同二年四月)

(徳川家)

第二冊 諸省へ御達留(二)

(明治二年五月〜同一年九月)

(徳川家)

※「渡島国(膽振国)山越郡山越内字有楽府略図」(彩色)あり。書翰・葉書の貼り付け、および綴じ込みあり。手書き細目次の綴あり。
※書翰・封筒・葉書、関連書類の貼り付け、および綴じ込みあり。手書きの細目次の綴あり。

尾四一六 寄留調書

(明治五年〜同一年)

(徳川家)

縦 二

*徳川家が雇い入れた愛知県および岐阜県の貫属士族・卒族・平民等の戸籍の書上帳。

第一冊 寄留調書(一)

(明治五年〜同七年)

(徳川家)

※「名古屋縣出張所江差出候戸籍調書下」〔移住ニ付送籍御届書留〕〔女中向御印鑑留〕〔相吉町御邸江御移以後戸籍調届案〕〔壬申四月寄留調書〕〔寄留届之書上 浅草瓦町〕等あり。

第二冊 寄留調書(二)

(明治七年〜同一年)

(徳川家)

※「明治八年十月巡査へ出 寄留人員調」〔徳川邸寄留人員書〕あり。

尾四一六 義恕様御来縣一卷

(明治二年二月〜同二年一月)

名古屋御家扶

縦 一

尾四―三 正五位様・奥方様御来縣一卷
*「明治廿二年十二月 義恕様御来縣出納簿 名古屋御家扶」を合綴。電報の綴じ込みあり。徳川義恕(一八代当主義禮の弟)は先祖墓参のために愛知来県。
(明治三十三年五月―八月) 徳川邸 縦 一

*「明治二十三年六月 從四位様・奥方様御出縣出納簿 徳川邸」を合綴。「小牧山園遊会費精算仕訳書」「園遊会事務委員録」あり。電報の綴じ込みあり。
正五位様(のち從四位)は一八代当主徳川義禮のこと。

尾四―三 於豊様御来縣一卷
(明治三十三年九月―
同二十六年一月) 名古屋徳川邸 縦 二

第一冊 於豊様御来縣一卷(一) (明治三十三年九月―十二月) 徳川邸

※「明治廿三年九月 於登代様御来縣諸金出納簿 徳川家扶」を合綴。電報の綴じ込みあり。於豊(登代)様は一四代および一七代当主徳川慶勝の四女。

第二冊 於豊様御来縣一卷(二) (明治二十五年三月―同二十六年一月) 名古屋徳川邸

※「明治廿五年六月十一日三河国蒲郡御滞在日誌」「蒲郡」健碧館御滞在日誌「知多郡御旅行日誌」あり。書翰・葉書・電報の貼り付け、および綴じ込みあり。

尾四―六 從四位様御来縣一卷
(明治二十四年一月―
同二十七年十二月) 徳川邸 縦 三

第一冊 從四位様御来縣一卷(一) (明治二十四年一月―同二十五年七月) 徳川邸

※「名古屋東照宮」御本殿初修繕積書「明治廿四年 震災修繕費予算調」「政秀寺本堂大修繕之儀ニ付歎願(書)」「震災修繕東御邸之分」等あり。「震災概表」等の綴じ込みあり。「岐阜縣管内震災強弱図」「根尾谷変状略図」(ともに彩色)あり。書翰・葉書・電報の貼り付け、および綴じ込み多数あり。大半が震災に関するもの。從四位様は徳川義禮のこと。

第二冊 從四位様御来縣一卷(二) (明治二十四年一月―同二十六年一月) 徳川邸

※「明治廿五年四月 建中寺御廟貳拾方様御修繕仕様(書)」などあり。書翰・図面等の貼り付け、および綴じ込み多数あり。震災による建中寺・相応寺等の寺院や廟所修繕に関する書類を中心に綴じ込んでいる。

第三冊 從四位様御来縣一卷(三) (明治二十五年九月―同二十七年十二月) 徳川邸

※「相応寺御内仏修繕中日記」「建中寺本堂廊下御供所修繕仕様及積り書」「定光寺震災修繕工事仕様及積り書」(彩色の絵図面を綴じ込み)等あり。書翰・図面および関連書類の貼り付け、および綴じ込み多数あり。

尾四―五 新撰旅団ニ関スル書類
(明治一〇年六月―八月) 徳川家 縦 二

*西南戦争の鎮定のため、士族等を新撰旅団へ編入するための願書や関連書類をまとめたもの。

第一冊 新撰旅団ニ関スル書類(一) (明治一〇年六月―八月) 徳川家

尾張徳川家文書目録(六)

番 号 表 題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

※「明治十年六月 新撰旅団御編入願ニ付届留 但御編入相成候分」とあり。
第二冊 「新撰旅団ニ関スル書類」(一) (明治一〇年六月〜七月) (徳川家)

※「明治十年六月 新撰旅団「虫損」願副書綴」とあり。

尾四一六 建中寺黒本尊御供養料金一巻

慶応元年五月

御広敷御用部屋

縦 一

尾四一七 北地并名地江向文通録

(明治一一年七月〜同二年二月)

(徳川家)

縦 二

*北海道八雲への移住・開拓に關して東京本所の尾張徳川家扶と移住する士族との書翰や記録をまとめたもの。

第一冊 北地并名地江向文通録(一) (明治一一年七月〜同二年二月) (徳川家)

※書翰・葉書・電報の貼り付けあり。

第二冊 「北地並名地へ向文通録」(二) (明治一六年二月〜同二年二月) (徳川家)

※「片桐助作八雲村開墾拡張見込陳御翰書 附同場全図共」(綴、図面彩色、包紙あり)等あり。書翰・葉書・封筒・電報の貼り付けあり。

尾四一八 營繕御用留

(明治七年〜同二年)

徳川邸土木掛

縦 二

*定光寺御廟や建中寺御靈屋、相応寺内仏殿等の修繕に關する留帳。

第一冊 營繕御用留(一) (明治七年〜同一年) 徳川邸土木掛

※「明治七戌年 御用留 土木掛」とあり(以後、年ごとに内題あり)。「明治十丁丑 定光寺御廟外御構矢来并御位牌所御構高塀檜肌御門屋 根等修繕入費払判帳」「建中寺本堂前并御墓所ノ図」等あり。書翰の貼り付けあり。

第二冊 「營繕御用留」(二) (明治一五年〜同二年) (徳川邸土木掛)

※「明治十五年十二月 建中寺膳器類初払物帳」「相応寺御内仏起シ方積書」「相応寺内仏殿之図」を貼り付けあり。

尾四一九 營繕向仕様并入札綴

(明治一四年〜同二年)

庶務課

縦 三

第一冊 營繕向仕様并入札綴(一) (明治一四年〜同一年) 庶務課

※「新稽古場新築仕様御積書」「御三階模様替仕様積書」「芝御廟所修繕方仕様書」「明治十五年十一月 四谷御邸土手土留石垣御仕様 帳 石屋九兵衛」等あり。「本所横綱町壱丁目十八番地図面」三枚(袋入り)の貼り付けあり。

第二冊 「營繕向仕様並入札綴」(二) (明治一七年〜同二年) (庶務課)

※「秋葉山御宮御家根銅葺積書」「浅草瓦町邸」、「御井戸積書」「明治二十二年十月二十一日 御長家造作見積調書」等あり。葉書の貼り付け、図面等の綴じ込みあり。

第三冊 (宮繕向仕様並入札綴三) (明治三年〜同二六年) (庶務課)

※「大久保西光庵修繕方積書」「明治廿四年八月六日 御庭圍板塀諸所修繕積書」「押上村御屋敷御井戸仕用書」「明治廿五年一月 瓦町御邸御茶屋御修復仕様書」等あり。浅草瓦町邸修繕の仕様書多数あり。「瓦町御邸御」階修繕図面「入」(袋入り)等図面の括り付けあり。

尾四一 〇 御用留(御用留 御門松節分柊鯛鬼打木御用留・温恭院様 (明治二年八月) 同三年二月) 内家御作事掛 縦 二

第一冊 御用留(御用留 御門松節分柊鯛鬼打木御用留・温恭院様十七回忌御法事留 二) (明治二年八月〜同三年七月) 内家御作事掛

※「(建中寺)御廟番組(住居)図面」「御城御広敷局向図」の括り付けあり。温恭院様は一四代将軍徳川家茂のこと。

第二冊 [御用留 御門松節分柊鯛鬼打木御用留・温恭院様十七回忌御法事留 二] (明治三年八月〜十二月) (内家御作事掛)

※「明治三年十二月 御門松節分柊鯛鬼打木御用留 御作事掛」「明治三年八月八日 三之丸西御臺屋於て温恭院様十七回忌御法事留 内家御作事掛」あり。「(桜之御間大奥図面写)」「(春秋館絵図面)」「明治二巳年七月 慎徳院様拾七回忌御法事之節(図面)」の括り付けあり。

尾四一 一 浚明院様薨御日記(浚明院様薨御日記) (天保六年九月八日) 一二月一〇日) 縦 一

*浚明院様は一〇代将軍徳川家治。

尾四一 二 豊姫様御紐解御祝留 (文久三年五月〜十一月) 新御殿御広敷御用部屋 縦 一

*豊姫は一四代および一七代当主徳川慶勝の四女。

尾四一 三 道姫様御紐解御祝儀御用一卷 (文久二年五月) 同三年二月) 新御殿御広敷御用達 縦 一

*「道姫様御紐解御祝儀御用留 御用達」とあり。「文久二戊年 別段御入用御勘定帳 御広敷御用部屋」「御紐解ニ付御式正御召服類御出来代私判帳」「文久二年戊十一月 道姫様御紐解御祝儀被為整候御入用御勘定帳 新御殿御広敷御用部屋」「大納言様を被進候御召服代金拾五両銀毫五五分仕払一卷」「文久三亥年十月 道姫様御式正夏御召服御入用御勘定帳 御広敷御用部屋」あり。道姫様は一四代および一七代当主徳川慶勝の三女。

尾四一 四 良姫様菊印御誕生様御用留(御誕生御用留) (明治元年十一月) 同四年二月) 新御殿御広敷御賄所 縦 一

*「明治元年辰十一月 御誕生様御用附出帳 新御殿御賄所」あり。書付の貼り付けあり。良姫様一四代および一七代当主は徳川慶勝の七女。

尾四一 五 豊姫様御誕生留 (安政四年正月〜八月) 御広敷御用部屋 縦 一

*「御色直御箸初一卷」あり。

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

尾四一六 知千代様御旗留

(慶応二年三月〜五月)

御城御広敷御用部屋

縦 一

*「知千代様御旗御用留」とあり。「慶応四辰年 盛千代様御初轍取扱・安千代様五年目取扱 大森甚左衛門 高崎定一」あり。安千代様は一四代および一七代当主徳川慶勝の六男、知千代様は慶勝の七男、盛千代様は慶勝の一〇男。

尾四一七 御三方御髪置一卷

(安政五年十一月〜
文久元年七月)

新御殿御広敷御用部屋

縦 一

*「元千代様・道姫様・豊姫様御髪置」巻 御用達」とあり。「午盆後福印御髪置御用代払判帳」「安政五年年 道姫様御髪置御当りニ付御召服等別段入用御勘定帳 御広敷御用部屋」「安政五年年 豊姫様御髪置御当りニ付御召服別段入用御勘定帳 御広敷御用部屋」「未十二月 寿御髪御入用金二巻 御用達」「御髪置御金廻帳」「髪印 御用代払判帳」「文久元酉年 豊姫様御髪置御召服代御勘定帳 御広敷御用部屋」あり。元千代様は一四代および一七代当主徳川慶勝の三男で、のちの一六代当主徳川徳成(義宣)。道姫は徳川慶勝の三女。

尾四一八 釣姫様御婚禮留

(明治三年十一月〜
同四年二月)

内家局新御屋敷家扶頭取

縦 一

*「釣姫様御精進日定」あり。「諸事」「女中達」の項目あり。釣姫様は二代藩主徳川斉荘の四女で松平(大給)乗命の室。

尾四一九 御遺領御相統留

(天保一〇年三月二五日
〜二月二〇日)

御小納戸頭取

縦 三

*二代藩主となった徳川斉荘の家督相統に関する留帳。

第一冊 御遺領御相統留(一)

(天保一〇年三月二五日〜四月二九日)

御小納戸頭取

※「沓」写 御召類惣数調帳 御小納戸」「式」写 御持込御道具帳 田安御小納戸」「三」写 御道具調帳 田安奥坊主組頭」「四」写 御洗足御道具帳 田安御湯殿方」あり。

第二冊 御遺領御相統留(二)

(天保一〇年五月朔日〜五月晦日)

(御小納戸頭取)

※「御引移ニ付御目見等之御次第」(折本)の貼り付けあり。

第三冊 御遺領御相統留(三)

(天保一〇年六月朔日〜二月二〇日)

(御小納戸頭取)

※巻末に「弘化三年午閏五月朔日 天保十亥年源懿様御相統被仰出田安御屋形ニ被為入候内左之ヶ条御吟味之事」とあり。源懿様は徳川斉荘のこと。

尾四二〇 富姫様御誕生御待請御用留

(明治三年八月〜
同四年一〇月)

新御屋敷御膳所

縦

*富姫は一四代および一七代当主徳川慶勝の八女。

尾四―二 安千代様御旗留 (慶応元年―同二年) 御城 御広敷御用部屋 縦 一

*「菖蒲御兜初仕様書 御細工所」「慶応二年 御旗御用留」あり。包装入りで「安千代様御旗等図面」「御旗之図面」「二綴」「御旗御飾場所図面」「二枚、
「向屋敷図面」一枚あり。安千代様は一四代および一七代当主徳川慶勝の六男。

尾四―三 堯之助様御誕生并御卒去留 (安政二年―文久元年) 江戸 御広敷御用部屋 縦 一

*「安政二卯年七月廿四日 於尾州堯之助様御誕生留」「女中達」「安政二卯年十月 堯之助様御事警徳院御卒去留」の項目で構成。堯之助様は一四代および
一七代当主徳川慶勝の二男。

尾四―三 秋英院様御卒去留 (明治二年八月) 御広敷懸り 副家知事 縦 一

*「御様鉢々表向御発表被仰出候迄之一巻 御卒去ニ付取扱御法号とも」「御出棺に關する図面の括り付けあり、」「御弘」「御入棺ニ付取扱」「御出棺御送
葬江付諸取扱」「建中寺初出方」「御出棺後御座所向等御清一巻」「女中達」「御行列」「御廟番」「御新葬御法事一巻」「秋英院の御廟所位置の図面括り付
けあり」の項目で構成。秋英院様は安千代(二四代および一七代当主徳川慶勝の六男)のこと。

尾四―四 靈沼院様御卒去留 (明治二年三月―十二月) 副家知事 縦 一

*「靈沼院様御容鉢々御弘迄 御法号共」「御卒去ニ付女中達」「御入棺一巻」「建中寺初出方」「御出棺御送葬取扱」「御行列」「御廟番」「御出棺後御清一
巻」「御新葬御法事一巻」「御新葬御法事後諸達等」の項目で構成。靈沼院様は盛千代(二四代および一七代当主徳川慶勝の一〇男)のこと。

尾四―五 御届留凶事 (明治三年―同五年) (徳川家) 縦 一

*「釣姫様御卒去ニ付取扱之事」「井上従五位殿父方祖母死去之事」等、一族・御縁家の死去に關する留帳。釣姫様は二代藩主徳川齊莊の四女で松平(大
給)乗命の室。

尾四―六 (豊姫様御鉄漿初一巻) (明治二年―同三年) (徳川家内家局) 縦 一

*「登代姫御鉄漿初御式正御道具御出来等御入用御勘定帳 内家局」「登代姫御鉄漿初御式御召服御出来御入用御勘定帳 内家局」あり。豊姫(登代姫)様
は一四代および一七代当主徳川慶勝の四女。

尾四―七 (道姫様御鉄漿初・安千代様御袴着御用留) (明治元年―同二年) (新御殿御広敷御役所・徳川家内家局) 縦 一

*「福印御召服大法直段積」「駒印御召服等代積一巻」「明治元辰年 道姫様御鉄漿初御祝儀被為整候付御入用御勘定帳 内家局」「明治元辰年 安千代様御
袴着被為整候付御入用御勘定帳 内家局」あり。道姫様は一四代および一七代当主徳川慶勝の三女。安千代様は徳川慶勝の六男。

尾四―八 旅費定則 (明治五年―同二五年) 出納懸 縦 一

*国内外の旅行費用の規則、および関連書類をまとめたもの。書翰の貼り付けあり。

尾四―九 (御道具類)御用留 (明治四年―同五年) 御道具掛 縦 一

尾張徳川家文書目録(六)

番 号 表 題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

*書付の貼り付け、および括り付けあり。

尾四一〇〇 (御作事・諸事)御用留

第一冊 (御作事)御用留(一) (明治三年〜同四年) (内家)御作事掛 縦 一二

※「御城御引私一件」[明治三年十一月ヨリ東御屋敷御住居向御用留]「御量御用聞田嶋屋久米右衛門御量頭御申付仕度旨」願書一通が括り付けられている。〔御靈屋御掃除仕候落葉取扱ニ付〕書付 三之丸御靈屋御番人〔包紙あり〕の括り付けあり。書付の貼り付け多数あり。

第二冊 (御作事)〔御用留二〕 (明治四年) (内家)御作事掛

※「(東御屋敷)御引移御用初別段御入用口」[末十二月 来申年年頭御門松鬼打木御飾方一卷 附節分格鯛とも]「建中寺御法事留」[源傳様三拾三回御忌御法事]、「入札控」[源欽様式十三回御忌御法事御入用帳]「未七月五日・六日源懿様二十七回御忌御法事留」あり。源傳様は一代藩主徳川斉温、源欽様は二代藩主徳川慶職、源懿様は三代藩主徳川斉荘のこと。

第三冊 (御作事)御用留(三) (明治五年) (内家)御作事掛

※「明治五年申年 定光寺御位牌所取縮瓦葺ニ建直シ一卷」〔下御庭秋葉杜御引建ニ付〕御入用積一卷 正御入用添達とも「杜寺向ヨリ之達綴」[商法掛り江無代渡諸色留]あり。書付の貼り付けあり。

第四冊 (御作事・土木)御用留(四) (明治六年) 土木掛

※「壺 一護国院山王権現模様替并拜殿渡り殿等取毀可申事」から「十五 一小沢久兵衛事年々差上物仕候付御報ひ被下方之事」まで一五項目を収録。書状・文書の貼り付け、および括り付け多数あり。全一二五項目の細目あり。

第六冊 (諸事)〔御用留二〕(六) (明治七年二月〜同九年) (徳川邸)

※「十六 一伊藤・関戸両家江御貸下金之内四万八千四口之内利子取立方之事」から「四十一 旧諸隊并旧雜使拝借金之事」までを収録。書状・電報の貼り付け多数あり。

第七冊 (諸事)〔御用留三〕(七) (明治八年〜同九年) (徳川邸)

※「四十一 一官員遠藤確蔵江於東京表御貸渡金取立方之事」から「八十一 万松寺住職生駒圓之事説教戒会執行ニ付他行届之事」までを収録。書状の貼り付け、および括り付けあり。

第八冊 (諸事)〔御用留四〕(八) (明治八年〜同一年) (徳川邸)

※「八十一 一晨君様御養子一卷」から「百廿五 一建中寺墓地共有惣代調印之事」までを収録。書状の貼り付けあり。晨君様は、のちに一八代当主となる徳川義禮のこと。

第九冊 (諸事)御用留(一)〔九〕 (明治一〇年) 徳川邸

※「一 近江屋直吉ヨリ蕪粕漬壺桶差上候右ニ付浅草海苔被下事」から「六十一 津金忠恕初五名并森政造助六名より何故御賞典不被下哉之義御諭願ニ返答之事」までを収録。書状の貼り付け多数あり。全三四項目の細目あり。

第一〇冊 (諸事) (御用留 二) (十) (明治一〇年〜同一二年) (徳川邸)

※「六十一 高岳院本堂御営繕ニ付願ニ仍テ御寄附品之事」から「百五 一愛知県博物場江献金之事」までを収録。「第一区坂上町相応寺境内図」(彩色、袋入り)の貼り付けあり。書状の貼り付け多数あり。

第二冊 (諸事) (御用留 三) (十二) (明治一〇年〜同一二年) (徳川邸)

※「百六 一松井吉甫江御貸下ケ御手許金之事」から「百四十八 一親族武嶋作次郎方御鏡餅献上之事」までを収録。「二位様より東京府庁へ御願相成候書面入」綴(袋入り)の貼り付けあり。一位様は一四代および一七代当主徳川慶勝のこと。書状の貼り付け多数あり。

第三冊 (諸事) (御用留 四) (十二) (明治一〇年〜同一二年) (徳川邸)

※「百四十九 一愛知県中学校江御献金之事」から「式百三十四 一横網町御新邸へ御引移之事」までを収録。書状の貼り付け、および括り付け多数あり。

尾四一三 (家扶) 日記 江戸(東京)

(明治四年四月一〇日、同二六年二月三一日) 徳川邸・家扶・一等家従・一等附・役局 縦 四二

第一冊 (家扶) 日記 江戸(東京) (二) (明治四年四月一〇日〜五月晦日) 徳川邸

※書付の括り付けあり。

第二冊 (家扶) (日記 江戸(東京) 二) (明治四年六月朔日〜八月二九日) (徳川邸)

第三冊 (家扶) (日記 江戸(東京) 三) (明治四年九月朔日〜二月晦日) (徳川邸)

第四冊 (家扶) 日記 一(四) (明治五年正月朔日〜五月晦日) 家扶

第五冊 (家扶) (日記 二) (五) (明治五年六月朔日〜十二月二日) (家扶)

※「御誕生様御万宝御小脇差御拵書」あり。

第六冊 (家扶) 日記 一(六) (明治六年一月一日〜五月三二日) 一等家従

※「年頭御略式等凡例」あり。

第七冊 (家扶) (日記 二) (七) (明治六年一月一日〜二月二七日) (一等家従)

※書状の貼り付けあり。

第八冊 (家扶) 日記 一(八) (明治八年一月一日〜五月三二日) 一等附

第九冊 (家扶) (日記 二) (九) (明治七年六月一日〜十二月三二日) (二等附)

第一〇冊 (家扶) 日記 一(十) (明治八年一月一日〜五月三二日) 一等家従

第二十一冊 (家扶) 日記 二(十二) (明治八年六月一日〜十二月三二日) (一等家従)

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

- 第二二冊 (家扶)日記(一)(十二) (明治九年一月一日〜五月三十一日) 家従
※書狀の貼り付けあり。
- 第二三冊 (家扶)(日記二)(十三) (明治九年六月一日〜同年二月二十八日) (家従)
※書狀の貼り付けあり。
- 第一四冊 (家扶)日記(三)(十四) (明治一〇年三月一日〜十二月三十一日) (家従)
※書狀の貼り付け、および括り付けあり。
- 第一五冊 (家扶)日記(一)(十五) (明治九年一月一日〜六月三〇日) 家扶
- 第一六冊 (家扶)日記(二)(十六) (明治九年七月一日〜十二月三十一日) (家扶)
- 第一七冊 (家扶)日記(一)(十七) (明治一〇年一月一日〜六月三〇日) 家扶
- 第一八冊 (家扶)(日記二)(十八) (明治一〇年七月一日〜十二月三十一日) (家扶)
- 第一九冊 (家扶)日記(一)(十九) (明治一一年一月一日〜六月三〇日) (家扶)
- 第二〇冊 (家扶)(日記二)(二十) (明治一一年七月一日〜十二月三十一日) (家扶)
- 第二一冊 (家扶)日記(一)(二十一) (明治一二年一月一日〜六月三〇日) 家扶
※書付の挟み込みあり。
- 第二二冊 (家扶)(日記二)(二十二) (明治一二年七月一日〜十二月三十一日) (家扶)
- 第二三冊 (家扶)日記(一)(二十三) (明治一三年一月一日〜六月三〇日) 家扶
- 第二四冊 (家扶)(日記二)(二十四) (明治一三年七月一日〜十二月三十一日) (家扶)
※書翰や葉書の貼り付け、および括り付けあり。
- 第二五冊 (家扶)日記(一)(二十五) (明治一四年一月一日〜五月三十一日) 御家扶
※書翰や葉書の貼り付けあり。紙片(名刺)の挟み込みあり。
- 第二六冊 (家扶)(日記二)(二十六) (明治一四年六月一日〜十二月三十一日) (御家扶)
※書翰の貼り付けあり。
- 第二七冊 (家扶)日記(一)(二十七) (明治一五年一月一日〜六月三〇日) 家扶
- 第二八冊 (家扶)(日記二)(二十八) (明治一五年七月一日〜十二月三〇日) (家扶)
- 第二九冊 (家扶)日記(一)(二十九) (明治一六年一月一日〜六月二十九日) 御家扶
- 第三〇冊 (家扶)(日記二)(三十) (明治一六年六月三〇日〜十二月三十一日) (御家扶)
※書翰・葉書の貼り付けあり。

- 第三冊 (家扶)日記(一)(三十一) (明治一七年一月一日～六月三〇日) 家扶
- 第三冊 (家扶)日記(二)(三十二) (明治一七年七月一日～二月三〇日) (家扶)
- 第三冊 (家扶)日記(三)(三十三) (明治一八年一月一日～七月一日) 御家扶
- ※紙片(名刺)の挟み込みあり。
- 第三四冊 (家扶)日記(二)(三十四) (明治一八年七月二日～二月三一日) (御家扶)
- ※葉書・紙片(名刺)の貼り付けあり。
- 第三五冊 (家扶)日記(三十五) (明治一九年一月一日～二月三〇日) 御家扶
- ※末尾に「水野忠雄御事調出頭日」の書上あり。
- 第三六冊 (家扶)日記(三十六) (明治二〇年一月一日～二月三一日) 当直(家扶)
- ※葉書・電報・紙片(名刺)の挟み込みあり。
- 第三七冊 (家扶)日記(三十七) (明治二二年一月一日～二月三一日) 家扶
- ※葉書・紙片(名刺)の挟み込みあり。
- 第三八冊 (家扶)日記(三十八) (明治二二年一月一日～二月三一日) 家扶
- ※紙片(名刺)・電報、および「各新聞社別配達報告」(朝野新聞や都新聞の号外等)の挟み込みあり。
- 第三九冊 (家扶)日記簿(日記)(三十九) (明治二三年一月一日～二月三〇日) (家扶)
- ※葉書の挟み込みあり。罫線あり。
- 第四〇冊 (家扶)日記簿(日記)(四十) (明治二四年一月一日～二月三一日) 役局(家扶)
- ※書付等の挟み込みあり。罫線あり。
- 第四一冊 (家扶)日記(四十一) (明治二五年一月一日～二月三一日) 本所徳川
- ※書付・葉書・紙片(名刺)等の挟み込みあり。電報の綴じ込みあり。
- 第四二冊 (家扶)日記(四十二) (明治二六年一月一日～二月三一日) (家扶)
- ※書付の挟み込みあり。罫線あり。

尾四二二イ (家扶)日記 江戸(東京)

- 第一冊 (家扶)日記(江戸(東京)一) (明治七年一月一日～九月三〇日) 一等家従
- ※書翰の貼り付けあり。
- 第二冊 (家扶)日記 江戸(東京)二 (明治七年一〇月一日～同八年六月三〇日) (一等家従)
- 第三冊 (家扶)日記 江戸三 (明治八年七月一日～二月三一日) (二等家従)

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

※書翰の括り付けあり。

尾四一〇三 (家扶)日記

(明治四年正月、同二年一〇月)

家扶

縦七

第一冊 (家扶)日記(一)

(明治四年正月七日、二月晦日)

家扶

※[明治四年未正月 高年取扱留 取扱内藤鉄太郎]あり。明治四年正月七日条以前の二丁分が上部欠損により、月日不詳。

第二冊 (家扶)日記(二)

(明治四年三月朔日、四月晦日)

(家扶)

※明細短冊の雛形の貼り付け、および括り付けあり。

第三冊 (家扶)日記(三)

(明治四年五月朔日、七月晦日)

(家扶)

※「元准士族以下人名年齢等調帳」あり。書翰の括り付けあり。

第四冊 (家扶)日記(四)

(明治四年八月朔日、九月晦日)

(家扶)

※「從三位様御上京十日振御休泊割」あり。「(定光寺)御社参之次第」(綴)の挟み込みあり。

第五冊 (家扶)日記(五)

(明治四年一〇月朔日、二月晦日)

(家扶)

※[明治四年未十一月 奥方様御上京一卷]「城郭御私物一件」あり。書翰の貼り付けあり。

第六冊 (家扶)日記(一)(六)

(明治五年正月元旦、同七年四月三〇日)

(家扶)

第七冊 (家扶)日記(二)(七)

(明治七年五月一日、同二年一〇月)

(家扶)

※書翰の貼り付けあり。

尾四一〇四 (家扶)日記

(明治一五年、同三年)

(御家従・御家扶)

縦八

*名古屋徳川邸の家扶の日記。

第一冊 (家扶)日記(一)

(明治一五年一月一日、二月二日)

御家従

第二冊 (家扶)日記(二)

(明治一六年一月一日、二月二日)

(御家従)

第三冊 (家扶)日記(三)

(明治一七年一月一日、二月二日)

(御家従)

※葉書の括り付けあり。

第四冊 (家扶)日記(四)

(明治一八年一月一日、二月二日)

(御家従)

※書翰の挟み込みあり。

第五冊 (家扶)日記(五)

(明治一九年一月一日、二月三〇日)

(御家従)

※書翰の括り付けあり。

第六冊 (家扶)日記(六)

(明治二〇年一月一日、同二年一月二日)

御家扶

- 第七冊 (家扶) (日記二) (七) (明治二年二月一日〜同三年六月三〇日) (御家扶)
- 第八冊 (家扶) (日記三) (八) (明治二年七月一日〜同三年二月三二日) (御家扶)
- 尾四一〇三 (家扶) 日記(尾州) (明治五年〜同十四年) (家扶)

*名古屋徳川邸の家扶の日記。

- 第一冊 (家扶) (日記 尾州二) (明治五年正月四日〜六月一九日) (家扶)

※書狀の貼り付け、および括り付けあり。

- 第二冊 (家扶) (日記 尾州二) (明治五年七月朔日〜同六年九月三〇日) (家扶)

※「両山御宗家様御代々御靈前方江」御参詣御名代御定「従一位様御参詣御名代御定」あり。書狀の貼り付け、および括り付けあり。

従一位様は一四代および一七代当主徳川慶勝のこと。

- 第三冊 (家扶) (日記 尾州三) (明治六年一〇月一日〜同一年二月三一日) (家扶)

※裏表紙に「明治五年ヨリ同十年マデ日記 家扶」とあり。書翰の貼り付けあり。

- 第四冊 (家扶) 日記(尾州二) (四) (明治一年一月一日〜二月三二日) (家扶)

- 第五冊 (家扶) (日記 尾州二) (五) (明治二年一月一日〜二月三〇日) (家扶)

※書翰の貼り付け、および括り付けあり。

- 第六冊 (家扶) (日記 尾州三) (六) (明治三年一月一日〜二月三二日) (家扶)

※書翰の貼り付けあり。

- 第七冊 (家扶) (日記 尾州四) (七) (明治四年一月一日〜二月三二日) (家扶)

※書翰の括り付けあり。

- 尾四一〇四 (家扶) 日記(瓦町邸(瓦町)) (明治二十四年一〇月二九日) (家扶)

〜同三十五年三月八日)

*浅草瓦町別邸の家扶の日記。

- 尾四一〇五 御在国日記 (慶応四年一月) (明治五年二月) (組頭・役懸)

- 第一冊 御在国日記(二) (慶応四年正月朔日〜明治二年二月一九日) (組頭・役懸)

※書付の括り付けあり。

- 第二冊 (御在国日記二) (明治三年正月朔日〜同五年一月二三日) (組頭・役懸)

※「御城御引私」付御品之納場所寛「巳年差上金名削」「午年中御側江差上物之御賞調」の項目あり。書狀の貼り付け、および括り付け

番号表題

年月日

作成者(差出)

形態・数量

あり。

尾四―二六 (家扶)日記〔用度 江戸〕

(明治一一年一月一日)

用度掛

縦

同二二年四月九日

*書付の括り付けあり。

尾四―二七 於登代〔お豊〕様御事瓦町御邸御止宿日記

(明治一三年五月一四日)

徳川邸

縦

〔九月二四日〕

*中表紙に「明治十三年 日記 浅草瓦町御邸詰」とあり。書翰の貼り付けあり。於登代(豊姫)は一四代および一七代当主徳川慶勝の四女。養生のため、浅草瓦町邸に止宿していたときの日記。明治一三年九月一四日に本邸に移る。

尾四―二八 雑事留

(明治四年―同一三年)

縦

*徳川家への様々な願書・届書・書状等を綴ったもの。

尾四―二九 営繕并修繕書綴

(明治二五年七月)

縦

同二六年二月

*「瓦町邸営繕費積書」や修繕箇所の仕様書等を綴ったもの。図面の綴じ込みあり。

尾四―三〇 年頭暑寒(取扱留)

(明治二年六月)

縦

同五年二月

*「三位中将様土用入御取扱」「入寒ニ付御内輪御取扱」「年頭調」等、尾張家および御縁家・御心安の諸家への年頭や暑寒等の取り扱いについての留帳。虫損あり。三位中将は一六代当主徳川義直のこと。